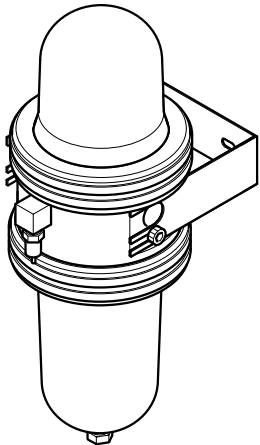


3in1 MULTI DRY FILTER SKELETON

3in1マルチ・ドライフィルタースケルトン
型式 SKT-103A-AB

取扱説明書



安全にお使いいただくために・・・P.2～3
各部の名称・・・・・・・・・・・P.4
同梱品を確認する・・・・・・・・P.5
取り付け例・・・・・・・・・・・P.5
知っておくべきこと・・・・・・・・P.6
ドライフィルターの設置・・・・・・P.6
部品の交換と洗浄・・・・・・・・P.7
第1エレメントの洗浄と第2エレメントの交換
・・・・・・・・・・・・・・P.8～9
オイルミストエレメントの交換・・・P.10
オートドレンフロートの洗浄 / 交換・・・P.11
ハウジング・ボウルの洗浄 / 交換・・・P.12
修理を依頼される前に・・・・・・P.13
製品仕様・・・・・・・・・・・P.14
流量特性・・・・・・・・・・・P.14
寸法図・・・・・・・・・・・P.14
ポリカーボネイトの耐薬品性について・・・P.15
同梱のリプライカードについて・・・P.16
品質保証書・・・・・・・・・・・P.16
使い方や修理に関するお問い合わせ・・・P.16

このたびは、3in1 マルチ・ドライフィルタースケルトンをお買い上げ
いただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。
- ご使用になる前に、「安全にお使いいただくために」(P.2～3)を
必ずお読みください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保管していただき、
メンテナンスなどにご使用ください。

同梱のリプライカードについて

リプライカードにご登録いただきますと下記の特典をご利用いただけます。
当社ホームページより必要事項をご登録いただきますようお願い申し上げます。

1. Amazon ギフト券 500 円分 進呈
2. フィルターエレメントの交換時期のご案内
3. 購入製品に関わる損害賠償責任保険の無料加入

品質保証書

お客様に安心して製品をお使いいただくために、こちらの製品はお買い上げ日より
1年間の品質保証を付けさせていただきます。

【保証内容】

正常な使用状態において品質及び製造上の不備により不具合が生じた場合に
無償修理、パーツ交換をさせていただきます。

修理が不可能な場合は、同モデルに交換させていただきます。

*お客様の過失・故意によるものや経年劣化によるものは保証の対象外とさせていただきます。

*保証の対象については弊社にて判断させていただきます。

*ご購入店様名、ご購入日の記載がないものについては保証の対象外とさせていただきます。

品名		製品番号		お買い上げ年月日	
お客様	会社名				
	ご担当者様名				
	電話番号				
販売店					

使い方や修理に関するお問い合わせ

この製品の使い方や修理について、さらにご質問がございましたら下記までお問い合わせください。
修理を依頼される場合は、ご購入店、または下記までご依頼ください。

【受付時間】月～金曜日8：00～17：00（弊社指定日休日を除く）

株式会社 前田シェルサービス

〒444-3595 愛知県岡崎市池金町字金山76-4
TEL:0564-48-2411 FAX:0564-48-6252
https://www.maedauni.co.jp
e-mail:sales@maedauni.co.jp



0120-312158（本社直通）



※製品改良のため、仕様などの一部を予告なく変更することがあります。

安全にお使いいただくために

●シグナル・ワード

ご使用の前にこの「安全にお使いいただくために」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
表示の意味は次のようになっています。

	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●選定時

	警告
・仕様範囲内でご使用ください。仕様については「製品仕様」(P.14)、およびカタログをご覧ください。	

	注意
・フロート式オートドレンの作動不良を避けるため、以下の使用条件でご使用ください。 <ul style="list-style-type: none">－使用するコンプレッサーは、0.75KW(100 ℓ /minANR) 以上でご使用ください。－複数台のフィルターをご使用になる場合は、上記条件に使用台数を乗じた値以上のコンプレッサーをご使用ください。	

●設置時

	警告
・ハウジングとボウルの材質はポリカーボネイトです。シンナー、アセトン、アルコール、塩化エチレンなどの有機溶剤、硫酸、硝酸、塩酸などの化学薬品、次亜塩素酸ナトリウム、オイルミスト、塩素、漏れ検知液、切削油、合成油、エステルベースのコンプレッサー油、アルカリ、灯油、ガソリン、ねじロック剤などの雰囲気、または付着する場所でのご使用はできません。ハウジング・ボウルの耐薬品性については、「ポリカーボネイトの耐薬品性について」(P.15) をご確認ください。このような場所でご使用になる場合は、弊社アルミ製 3in1 マルチ・ドライフィルターをご使用ください。	
・合成油はエステル系が多くポリカーボネイトを侵食するおそれがありますので付着する場所では使用しないでください。またコンプレッサー潤滑油に合成油を使用している場合は使用しないでいただくか、通常の潤滑油に変更してください。	
・使用対象流体は圧縮空気です。	
・直射日光の当たる場所で 40℃以上に熱せられる場合には日光を遮断してください。	

注意

- ・マニホールドについている IN・OUT を確認して設置してください。
逆接続は誤動作の原因となります。
- ・ドレン排出口が下向きになるよう垂直に取り付けてください。
- ・取り付ける製品の上下前方は、メンテナンスの為、「寸法図」(P.14) の中に記載されているスペースを設けてください。
- ・対象ろ過粒子径は 0.01μm 以上です。
- ・仕様範囲外での使用はできません。「製品仕様」(P.14) およびカタログをご覧ください。

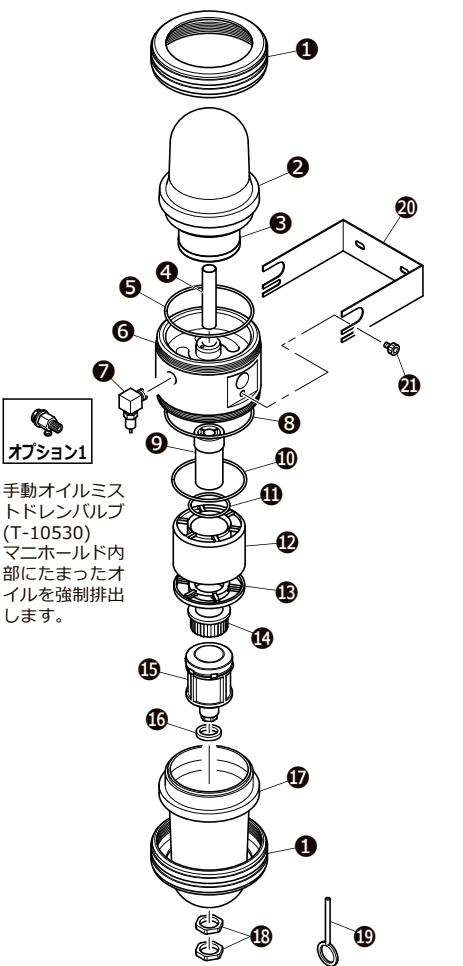
●保守点検時

警告

- ・保守点検は、「部品の交換と洗浄」(P.7) 以降の手順で行ってください。
取り扱いを誤ると、機器や装置の破壊や作動不良の原因となります。
ハウジング、ボウルのクラック・傷・その他の劣化を検出するため、1 ヶ月に 1 度点検を行ってください。
クラックや傷、その他の劣化が確認された場合は、破損の原因となりますので、新しいハウジング・ボウルに交換してください。
ハウジング、ボウルの汚れを定期的に点検してください。
ハウジング、ボウルに汚れが認められた場合には、家庭用中性洗剤で洗浄してください。
他の洗剤や洗浄液、溶剤などを使用すると破損の原因になります。
- ・メンテナンス作業
圧縮空気は取扱いを誤ると危険ですので、製品仕様を守るとともに、エレメントの交換やその他のメンテナンスなどは空気圧機器について十分な知識と経験のある方が行ってください。
- ・保守前点検
製品を取り外す時は必ず供給圧力を止めて配管中の圧縮空気を排気して、大気開放状態（圧力計が 0 の状態）を確認してから行ってください。
- ・保守後点検
取り付け・保守後は圧縮空気を接続し、漏れがないか検査を行ってください。もし、音が聞こえるほどの漏れが生じた場合は、使用しないで、正しい取り付けがされているか再確認してください。
- ・分解・改造の禁止
フィルターエレメントの交換以外の分解・改造はしないでください。
- ・ハウジング、ボウルの定期交換
適切な使用状況であっても、5 年以上ご使用されますと、経年劣化による破損の可能性があります。ご使用開始から 5 年以内にはハウジング、ボウル共に交換が必要です。使用開始日を本体シールに記載して管理してください。

各部の名称

● SKT-103A-AB



注意

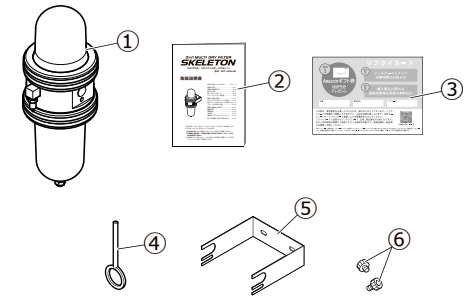
- ・オイルミストドレンバルブ (SKT-10507) は常時加圧状態 (24 時間稼働等) では作動しません。手動オイルミストドレンバルブに取り替えをお勧めします。

No.	部品名称	品 番
①	リングナット (2個)	SKT-10320
②	ハウジング (*4)	SKT-103HB
③	オイルミストエレメント (*1)	T-103FS-AB
④	アウトレットパイプ	T-10304
⑤	Oリング (ハウジング用)	SST-10305-1
⑥	マニホールド	SKT-10302
⑦	オイルミストドレンバルブ (Rc1/8ネジ切りあり)	SKT-10507
⑧	Oリング (ボウル用)	T-10305-2
⑨	第1エレメント	T-10309
⑩	Oリング (大)	T-10305-3
⑪	Oリング (小)	T-10305-4
⑫	第2エレメント (*1)	T-103FS-AB
⑬	ボトムフランジ	T-10311
⑭	エンドナット	T-10312
⑮	オートドレンフロート (*2)	T-10513B
⑯	ラバーパッキン (*2)	T-10514
⑰	ボウル (*4)	SKT-103HB
⑱	ナット (*2)	T-10515
⑲	ブッシュピン (*2)	T-10519
⑳	ブラケット (*3)	T-10318
㉑	ブラケット用ボルト (2本) (*3)	T-10318-2
オプション1	手動式オイルミストドレンバルブ (R1/8) (オプション)	T-10530

- (*1) : ③オイルミストエレメントと⑫第2エレメントはセット商品です。
- (*2) : ⑮オートドレンフロートには、⑯ラバーパッキン、⑱ナット、⑲ブッシュピンが付属されています。
- (*3) : ⑳ブラケットには、㉑ブラケット用ボルトが付属されています。
- (*4) : ②ハウジングと⑰ボウルはセット商品です。

同梱品を確認する

お買い上げの商品には、次の付属品が入っています。
不足していたり、破損していた場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。



No.	名 称	No.	名 称
①	ドライフィルター本体	④	ブッシュピン
②	取扱説明書	⑤	ブラケット
③	リプライカード	⑥	ブラケット用ボルト (2本)

取り付け例

重要

コンプレッサーから排出された空気は高温のため、水分が水蒸気の状態で配管内に流れています。そのため、圧縮空気が外気温と同程度下がった付近では、水分が水滴化しており、以下のような位置にフィルターを取り付けると、最大の効果が得られます。
※コンプレッサーの近くにフィルターを取り付けても十分に性能を発揮できません。

15 m以上

配管またはホース

※ 配管またはホースで、コンプレッサーから **15m 以上**離れた位置に取り付けてください。

コンプレッサー

7.5 m以内

配管またはホース

※使用機器の、できるだけ近い位置に取り付けてください。(7.5m 以内が最も効果があります)

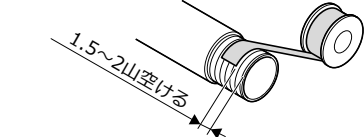
3in1 マルチ・ドライ
フィルタースケルトン

エアー機器

知っておくべきこと

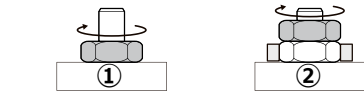
● シールテープの巻き方

ねじの端面からねじ山を 1.5 ～ 2 山残し、シールテープを軽く引っ張りながら時計方向に巻きます。

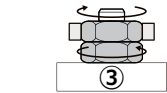


● ダブルナットの締め方

1. 1 目目のナットを手締め後、スパナで 180°増し締めします。
2. 1 目目のナットをスパナで固定し、2 目目のナットを手締め後、増し締めします。



3. 2 目目のナットを締め付けながら 1 目目のナットを逆回転で少し戻します。

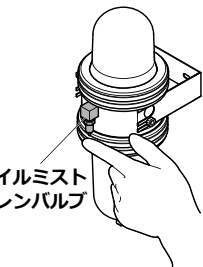


● 交換作業前の準備

部品の洗浄や交換作業を行う前は、必ず以下の作業を行ってください。

注意

- ・必ず供給圧力を止めて配管中の圧縮空気を排気し、大気開放状態を確認してから行ってください。



1. ドライフィルターに接続している一次側のエアーの供給を止めます。
2. オイルミストドレンバルブを押し上げて、フィルター内の残圧を抜きます。

ドライフィルターの設置

● 必要な工具類

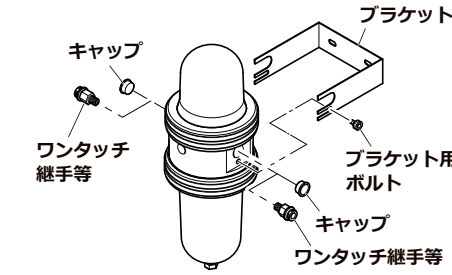
- ・配管施工用工具
- ・シールテープ
- ・ブラケット取付用工具 (六角レンチ 4mm)

● 作業手順

1. 設置場所にブラケットを取り付けます。

注意

- ・メンテナンスに必要なスペースが確保できるように取り付けてください。(「寸法図」(P.14) を参照してください)



2. エアーの IN 側 /OUT 側のキャップを取り外します。
3. ブラケットに本体を取り付けます。
 - ・ブラケット用ボルト 2 本
4. 配管、またはワンタッチ継手等を取り付けます。
5. ドライフィルター本体に貼り付けてあるシールに、設置日を記載します。

● 設置後の作業

- ・一次側のエアーを供給して、エアー漏れが無いことを確認してください。

部品の交換と洗浄

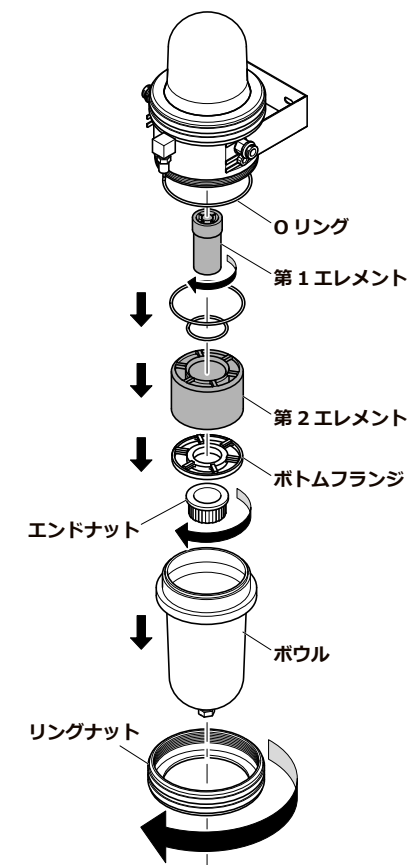
部品名称	品番	時期	洗浄/交換方法
第1エレメント	T-10309	2年ごと	第1エレメントを中性洗剤で洗浄、または交換します。P.8～9を参照してください。
第2エレメント	T-103FS-AB	6～10ヶ月ごと	第2エレメントを交換します。P.8～9を参照してください。
オイルミストエレメント			オイルミストエレメントを交換します。P.10を参照してください。
オートドレンフロート	T-10513B	6～10ヶ月ごと	オートドレンフロートを水洗い、または交換します。P.11を参照してください。
ハウジング	SKT-103HB	5年以内	ハウジングを交換します。P.12を参照してください。
ボウル			ボウルを交換します。P.12を参照してください。

第 1 エLEMENTの洗浄と第 2 エLEMENTの交換

● 作業前準備

- ・エアーの供給を止め、フィルター内の残圧を抜きます。(P.6 参照)

● 作業手順



1. リングナットを取り外します。

⚠ 注意

- ・リングナットを取り外す際、ボウルが落下しないように、ボウルを手で支えながら取り外してください。

2. ボウルを取り外します。

⚠ 注意

- ・ボウルを取り外すときに、O リングが外れることがあります。無くさないように注意してください。

3. エンドナットを取り外します。

4. ボトムフランジを取り外します。

- ・第 1 エLEMENTと第 2 エLEMENTを交換する場合は、手順 5 に進み、第 1 エLEMENTを洗浄する場合は、手順 6 に進みます。

5. 第 1 エLEMENTと第 2 エLEMENTを取り外し、新しいエLEMENTを取り付けます。

・エLEMENT取り付け後、手順 7 に進みます。

⚠ 注意

- ・第 1 エLEMENTは厚みのある方を上側に取り付けてください。
- ・第 2 エLEMENTの矢印が上向きになるように取り付けてください。

6. 第 1 エLEMENTを取り外して洗浄し、乾燥させてから取り付けます。

⚠ 注意

- ・第 1 エLEMENTは厚みのある方を上側に取り付けてください。

7. ボトムフランジを取り付けます。

⚠ 注意

- ・ボトムフランジは、突起部が上側になるように取り付けてください。

8. エンドナットを取り付けます。

9. ボウルを取り付けます。

⚠ 注意

- ・ボウル上部の溝に O リングが取り付けられています。O リングのヨレ・巻き込みがないように、ボウルを取り付けてください。

10. リングナットを取り付けます。

● 交換後の作業

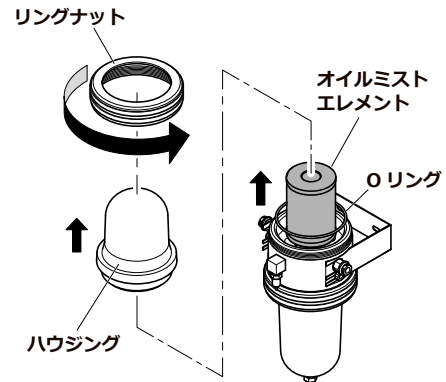
- ・一次側のエアーを供給して、エアー漏れが無いことを確認してください。
- ・新しいエLEMENTに付属しているシールの [使用開始日] と [次回交換日] を記入して、ボウルに貼り付けてください。

オイルミストエLEMENTの交換

● 作業前準備

- ・エアーの供給を止め、フィルター内の残圧を抜きます。(P.6 参照)

● 作業手順



1. リングナットを取り外します。
2. ハウジングを取り外します。
3. オイルミストエLEMENTを取り外し、新しいエLEMENTを取り付けます。

⚠ 注意

- ・開口部が下向きになるように取り付けてください。

4. ハウジングを取り付けます。
5. リングナットを取り付けます。

● 交換後の作業

- ・一次側のエアーを供給して、エアー漏れが無いことを確認してください。
- ・新しいエLEMENTに付属しているシールの [使用開始日] と [次回交換日] を記入して、ハウジングに貼り付けてください。

オートドレンフロートの洗浄 / 交換

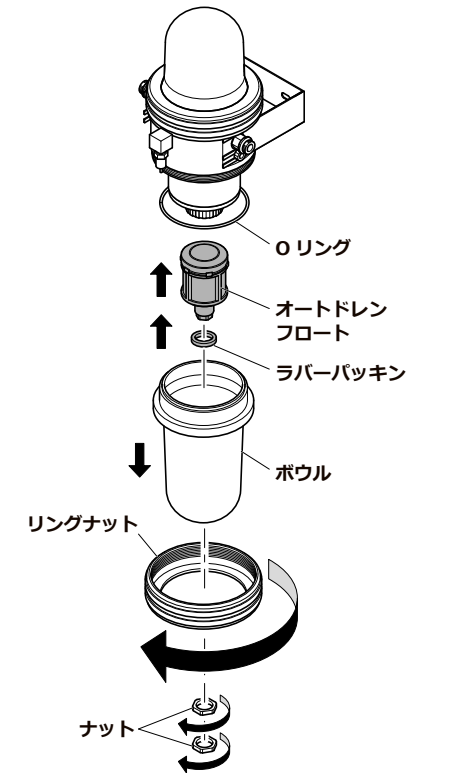
● 必要な工具類

- ・スパナ (21mm) (ナット外し用)

● 作業前準備

- ・エアーの供給を止め、フィルター内の残圧を抜きます。(P.6 参照)

● 作業手順



1. リングナットを取り外します。

⚠ 注意

- ・リングナットを取り外す際、ボウルが落下しないように、ボウルを手で支えながら取り外してください。

2. ボウルを取り外します。

⚠ 注意

- ・ボウルを取り外すときに、O リングが外れることがあります。無くさないように注意してください。

3. ナットを取り外します。

4. オートドレンフロートを取り外します。

⚠ 注意

- ・ボウルの底にラバーパッキンが残っていないか確認してください。新しいオートドレンフロートにラバーパッキンも付属しています。

5. 水洗いし、乾燥させたオートドレンフロート、または新しいオートドレンフロートを取り付けます。

6. ナットを取り付けます。(P.6 参照)

7. ボウルを取り付けます。

⚠ 注意

- ・ボウル上部の溝に O リングが取り付けられています。O リングのヨレ・巻き込みがないように、ボウルを取り付けてください。

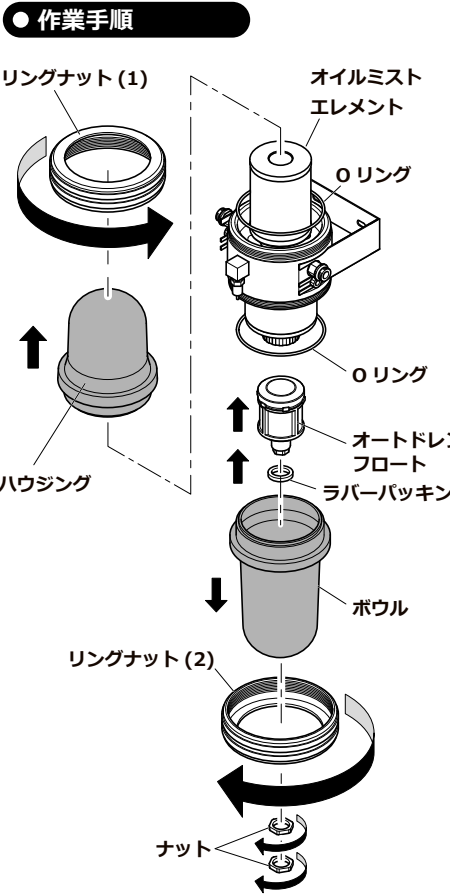
8. リングナットを取り付けます。

● 交換後の作業

- ・一次側のエアーを供給して、エアー漏れが無いことを確認してください。

ハウジング・ボウルの洗浄 / 交換

- 必要な工具類
 - ・スパナ (21mm) (ナット外し用)
- 作業前準備
 - ・エアーの供給を止め、フィルター内の残圧を抜きます。(P.6 参照)



- ハウジングの洗浄 / 交換
1. リングナット (1) を取り外します。
 2. ハウジングを取り外します。
 3. 水洗いし、乾燥させたハウジング、または新しいハウジングを取り付けます。
 4. リングナット (1) を取り付けます。

- ボウルの洗浄 / 交換
1. リングナット (2) を取り外します。

⚠ 注意
 - ・リングナット (2) を取り外す際、ボウルが落下しないように、ボウルを手で支えながら取り外してください。
 2. ボウルを取り外します。

⚠ 注意
 - ・ボウルを取り外すときに、Oリングが外れることがあります。無くさないように注意してください。
 3. ナットを取り外します。
 4. オートドレンフロートを取り外します。

⚠ 注意
 - ・ボウルの底にラバーパッキンが残っていないか確認してください。
 5. 水洗いし、乾燥させたボウル、または新しいボウルにオートドレンフロートを取り付けます。
 6. ナットを取り付けます。
 7. ボウルを取り付けます。

⚠ 注意
 - ・ボウル上部の溝に Oリングが取り付けられています。Oリングのヨレ・巻き込みがないように、ボウルを取り付けてください。
 8. リングナットを取り付けます。

- 交換後の作業
- ・一次側のエアーを供給して、エアー漏れが無いことを確認してください。

修理を依頼される前に

故障かな? と思ったときは、以下のことを確認し、処置を行ってください。
処置後、改善が見られない場合は、巻末に記載している弊社営業所までお問い合わせください。

こんなとき	確認事項	考えられる原因	処置
水が溜まっているのにドレンが排出されない 	1. 水面の位置が左図の①より高いか低いかを確認	①より低い場合 オートドレンは水位が①の高さにならないと自動で排出されません。	 付属のプッシュピンをオートドレンフロートの下部より挿入し、2〜3度オートドレンフロートを押し上げてドレンを排出させて、ゴミや汚れをエアーの力で排出します。
		①より高い場合 使用する圧力が高すぎるか、油などの不純物がオートドレンフロートの動きを阻害している可能性があります。	
	2. ドレンが凍っていないかどうかを確認	使用温度範囲外での使用の可能性がありま	
ドレンからエアーが漏れっぱなしになる	3. 上記1.〜2.の処置を行ってもドレンが排出されない場合	オートドレンフロートの故障の可能性がありま	オートドレンフロートを交換してください。(P.11参照)
	4. 使用圧力が0.3〜0.7MPa以外か以内かを確認	0.3〜0.7MPa以外の場合 規定値の範囲外の圧力で使用した場合、オートドレンが正常に作動しないことがあります。	0.3〜0.7MPa以内の圧力で使用してください。
		0.3〜0.7MPa以内の場合 フィルターのシール部にゴミや異物が噛み込んでいる可能性があります。	付属のプッシュピンをオートドレンフロートの下部より挿入し、2〜3度オートドレンフロートを押し上げてドレンを排出させて、ゴミや汚れをエアーの力で排出します。
フィルター2次側にドレンが発生した	5. 4.の処置を行ってもエアー漏れが止まらない場合	長期間の使用によるシールゴムの劣化の可能性がありま	オートドレンフロートを交換してください。(P.11参照)
	6. フィルターからエアー機器までの距離を確認	取り付け直後の場合	弊社営業所までお問い合わせください。
	7. コンプレッサーからフィルターまでの距離を確認	コンプレッサーからフィルターまでの距離が長く、配管内で結露が発生している可能性があります。	フィルターの取り付け位置を、エアー機器側に移動してください。(P.5参照)
		コンプレッサーからフィルターまでの距離が短く、水滴の結露が発生していない可能性があります。	コンプレッサーからフィルターまでの距離を長くします。直線距離が短い場合は、ホースなどを巻いて、全長15m以上の長さにしてください。(P.5参照)

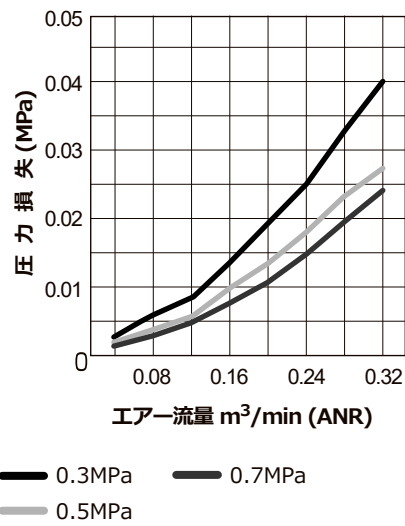
製品仕様

フィルター型式	使用圧力 (MPa)	使用温度範囲 (℃)	固形粒子除去 (μm)
SKT-103A-AB	0.3〜0.7	5〜40	0.01

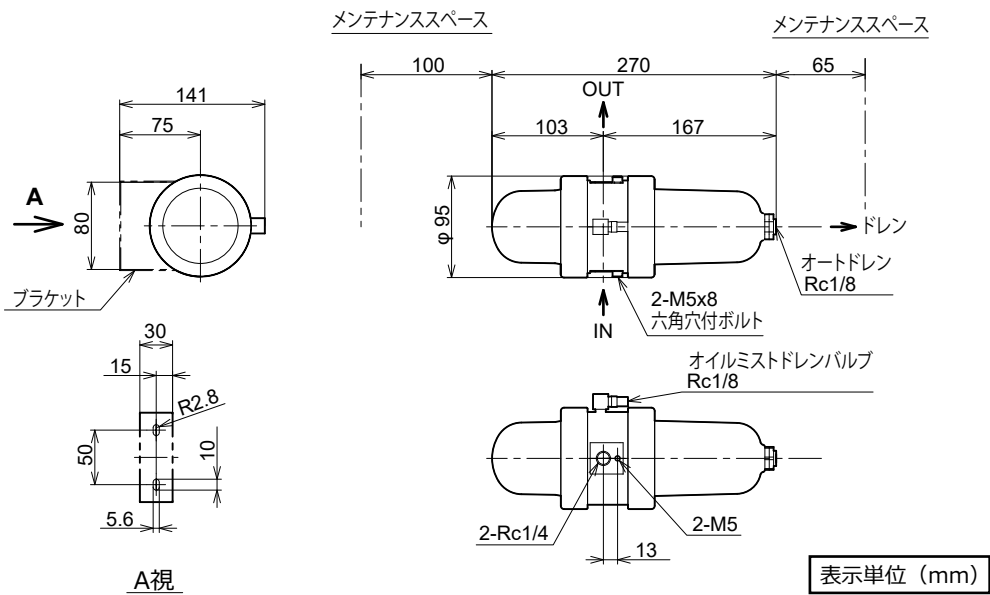
最大流量 ℓ/min(ANR) 0.7MPa時	接続口径 (インチ)	質量 (Kg)	フィルターエレメント型式
300	Rc1/4	1.1	第1エレメント・T-10309 第2エレメント + オイルミストエレメント・T-103FS-AB

※ ℓ/min(ANR)とは、大気圧状態での容積です。

流量特性



寸法図



ポリカーボネイトの耐薬品性について

ポリカーボネイトの耐薬品性について、下表に示します。
以下のような化学薬品が圧縮空気中に含まれたり、雰囲気中または付着する場所ではハウジングやボウルが破損し、事故の原因となる場合があるため、使用しないでください。

有機溶剤、化学薬品の雰囲気、および付着による影響
(参考) 物性を劣化させる薬品データ

種類	薬品名	使用用途例	材質 ポリカーボネイト
酸	次亜塩素酸ナトリウム、塩酸、硫酸、リン酸、クロム酸等	殺菌・金属の酸洗液	×
アルカリ	か性ソーダ、か性カリ、消石灰、アンモニア水、炭酸ソーダ等	金属の脱脂、工業塩、水溶性切削液、漏れ検知液	×
無機塩	硫化ソーダ、硫酸ソーダ、硝酸ソーダ、硝酸カリ等		×
塩素系溶剤	四塩化炭素、クロロホルム、塩化エチレン、塩化メチレン等	金属の洗浄液、印刷インク、希釈	×
芳香族類	ベンゼン、トルエン、キシレン、シンナー等	塗料、ドライクリーニング	×
ケトン類	アセトン、メチルエケチルケトン、シクロヘキサン等	写真用フィルム、ドライクリーニング、繊維工業	×
アルコール類	エチルアルコール、メチルアルコール、IPA 等	不凍剤、接着剤、洗浄	×
オイル類	ガソリン、灯油等	洗浄	×
エステル類	フタル酸ジメチル、フタル酸ジエチル、酢酸等	合成油、防錆剤の添加剤	×
エーテル類	メチルエーテル、エチルエーテル等	ブレーキ油の添加剤	×
アミン類	メチルアミン等	切削油、ブレーキ油の添加剤、ゴム促進剤	×
その他	ネジロック液	フィルター設置等	×
	海水	洗浄	×
	リークテスター	漏れ検知	×

上記の要因がある場合、または疑わしい場合は、弊社アルミ製 3in1 マルチ・ドライフィルターをご使用ください。